

2025 年 7 月 8 日

環境省「令和7年度脱炭素社会実現に向けた自然関連情報分析実践プログラム (地域金融機関向け)」への採択について

めぶきフィナンシャルグループ(取締役社長 秋野 哲也)は、環境省が実施する「令和7年度脱炭素社会実現に向けた自然関連情報分析実践プログラム(地域金融機関向け)」の参加金融機関として採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループは、今後も持続可能な地域社会の実現に向け、脱炭素社会・環境保全への貢献を推進するとともに、適切な情報開示に努めてまいります。

記

1. 応募背景・参加目的

当社グループは、グループサステナビリティ方針において「脱炭素社会・環境保全への貢献」を重要課題(マテリアリティ)の一つとして掲げ、その対応の一環としてTNFD※フォーラムへ参画するなど、自然関連情報の分析・開示を進めております。

本プログラムへの参加を通じて自然関連情報分析の高度化を図ることで、脱炭素化とネイチャーポジティブへの移行に貢献する取り組みを進めていくとともに、適切な情報開示を通じてステークホルダーとのエンゲージメントをより一層強化してまいります。

※TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)は自然資本等に関する企業のリスク管理と開示枠組みを構築するために設立された国際イニシアチブで、2023年9月に開示フレームワーク(TNFD提言)v1.0を公表している。TNFDフォーラムは、TNFDの議論をサポートする組織で、現在、全世界から1,800以上の企業・機関・団体等が参画している

2. プログラム概要

本プログラムは、TNFDフレームワークを参考に、金融機関の融資ポートフォリオにおける自然との接点や、自然関連の依存・インパクト・リスク・機会の把握・分析を通じて、気候変動対策と自然課題の対策の複合的な関係性を理解・整理し、自然資本対応を推進することを目的としております。

3. プログラム実施内容

- ・融資ポートフォリオ、優先セクター等における自然との関わりの分析
- ・優先セクターおよび金融機関における自然関連リスク・機会の整理
- ・TNFD提言に基づく開示材料の検討

以 上